

# 2016年度 自己点検・評価【人間福祉学部】

C票

## <目標、行動計画>進捗確認シート

提出日:2017年2月23日

責任者	人間福祉学部長	作成部局	人間福祉学部
-----	---------	------	--------

### 2021年度に向けた教育研究目標

#### 【A票:教育研究目標1】

(タイトル)

人間福祉学部学生の学力の向上

(狙い内容)

高等学校での学びから大学の学びへの円滑な移行を促進し、学力の底上げを図る。

#### 1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)

低学力の学生数を減少させ、学生間の学力格差を是正する。

<変更時記入欄>

<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>

#### 2. 達成度評価

評価指標	直近2年間の2年生から3年生への進級判定不合格者数における入学方式毎の人数の割合、または、進級判定不合格者の総数のいずれか。(いずれかを満たせば尺度達成)	評価尺度	A:割合が15%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が15名未満。 B:割合が20%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が20名未満。 C:割合が25%を超える入学方式がない、または不合格者の総数が25名未満。 D:割合が30%を超える入学方式がある、かつ不合格者の総数が30名を超えている。	変更有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	<変更時記入欄>		<変更時記入欄> A: B: C: D:割合が30%を超える入学方式がある、または不合格者の総数が30名を超えている。	

#### 3. 年度毎の目標値

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度(計画策定時)		D	D	D	C	C	B	A	有 <input checked="" type="radio"/> 無
2016年度進捗状況 & 今後の目標値	評価尺度: A~D <実績> D	見込み	<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> D						
	見込・実績・目標(値又は状況)		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> 2015年度は32名。						

【2016年度の進捗状況について】 ←

基礎演習での共通プログラムの検討、スタディガイド改善の意見集約。

<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>

Dの評価尺度を「かつ条件」してしまうと、CにもDにも当てはまらない場合があるので、Dも「または条件」に変更する。

### 2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか?	→ <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
<上記で「いいえ」を選んだ場合>	
①理由:	
②今後必要な取組み:	

#### <評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示

- ・低学力の学生数を減少させ、学生間の学力格差を是正するという目標をめぐって、その進捗状況の確認も含め、具体的に記述されて、適切であると思われる。(A)
- ・成績不振者のサポートについて、早期の対応が望まれます。(B)
- ・達成度評価欄で2年生から3年生への進級判定不合格者における入学方式毎の人数の割合が評価指標にありますが、こちらの状況について進捗状況が記載されていないようですので、追記が望まれます。(F)
- ・今後は、学生の学力の向上という目標に対して、スタディガイドの配布や基礎演習の授業内容の検討がどのように目標達成に結びついているのかを分析することが求められます。
- ・学部独自の入学前教育の実施や、TOEICスコアなどについては、別途目標として定めることも考えられるかもしれません。
- ・なお参考ですが、高大接続改革を踏まえた英語に関する外部テストについては、TOEFLを始めとしてTOEIC以外のものが想定されています。国際的通用性の観点からも、今後は評価尺度としてのTOEICについて再考も必要となってくるかもしれません。(H)
- ・より適切な達成度評価の評価指標を検討する必要があると思われる。(I)

<b>【A票:教育研究目標2】</b>									
(タイトル) 学問的基盤に根ざした専門的かつ実践的な教育の提供									
(狙い内容) 「実学の府」にふさわしい、「3つのC」(「人への思いやり(Compassion)」、「幅広い視野(Comprehensiveness)」、「高度な問題解決能力(Competence)」)を在学中に身に付けられる教育内容を提供する。									
<b>1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)</b>									
学生一人一人が、自ら専攻した領域の学びに意欲的に取り組み、充実感をもって卒業する。									
<変更時記入欄>									
<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>									
<b>2. 達成度評価</b>									
評価指標	卒業時に実施するアンケート結果(「4年間の学びを通して『3つのC』が身についたと思いますか」という問いに対する「はい」と答える者の割合)					評価尺度 A:「はい」と答える者の割合がCに対して6%アップ B:「はい」と答える者の割合がCに対して3%アップ C:アンケートを実施し、現状を把握 D:アンケート未実施	変更有無 有(無)		
	<変更時記入欄>								
<b>3. 年度毎の目標値</b>									
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度(計画策定時)		D	D	C	B	B	B	A	有(無)
2016年度進捗状況 & 今後の目標値	評価尺度: A~D	<実績> D	見込み	<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> C					
	見込・実績・目標(値又は状況)	<実績> 学部長室委員会で検討。		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> アンケートを作成し、試行的に実施予定。					
<b>【2016年度の進捗状況について】</b> ←									
2017年3月18日の卒業式の日の実施に向けて、アンケートの作成に取り掛かり、今年度、現状把握する予定。									
<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>									

### 2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？	→ (は) ・ いいえ
<上記で「いいえ」を選んだ場合>	
①理由:	
②今後必要な取組み:	

**<評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示**

- ・学問的基盤に根ざした専門的かつ実践的な教育の提供という目標をめぐって、その進捗状況の確認も含め、具体的に記述されて、適切であると思われます。(A)
- ・ほぼ順調に推移しています。(B)
- ・アンケート調査を確実に実施され、調査結果から見出した教育内容等の改善点を次年度以降の取組みに繋げていくことを期待しています。(C)
- ・卒業時アンケートにより、教育内容の効果を把握されることが期待されます。(E)
- ・概ね予定通り進捗している。(G)
- ・卒業時アンケートについて実施後の分析が期待されます。同時に、学生の調査疲れを避けるためにも、キャリアセンターや高等教育推進センターによる同種調査との連携も望まれます。(H)

**【A票:教育研究目標3】**

(タイトル)

「人間福祉」の多様性と可能性を社会に発信し、「人間福祉」という学問領域を社会に浸透させる。

(狙い内容)

「人間福祉」に関わる諸領域に強い関心と学ぶ意志を持つ学生を受け入れ、4年間の意欲的な学びを通して身に付けた知識・価値観・学問的及び実践的手法を活用して社会の発展に寄与し得る卒業生を社会に輩出する。「人間福祉」という領域が「福祉の現場」のみならず社会のあらゆる場面で活かすことができる可能性に溢れるものであることを社会に浸透させる。

**1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)**

人間福祉学部各学科の学際的かつ幅広い学びに深く関心を持つとともに、それぞれの専門性に対して強い意欲を持った、本学部を第一志望とする学生を安定的に確保する。

<変更時記入欄>

<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>

**2. 達成度評価**

評価指標	卒業時アンケート結果(「人間福祉学部が第一志望でしたか」という問いに対して「はい」と答えた者の割合)	評価尺度	A : Cに対して10%アップ B : Cに対して5%アップ C : アンケートを実施し、現状を把握する D : 現状を把握していない	変更有無 有(無)
	<変更時記入欄>		<変更時記入欄> A : B : C : D :	

**3. 年度毎の目標値**

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度(計画策定時)		D	D	C	B	B	B	A	有(無)
2016年度進捗状況 & 今後の目標値	評価尺度: A~D	<実績> D	見込み	<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> C					
	見込・実績・目標(値又は状況)	<実績> アンケート実施せず。		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> アンケートを作成し、試行的に実施予定。					

【2016年度の進捗状況について】 ←

2017年3月18日の卒業式の日の実施に向けて、アンケートの作成に取り掛かる。

<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>

**2016年度の実行状況の確認**

2016年度の実行状況は、当初の目標どおりに進んでいるか? → **はい**・いいえ

<上記で「いいえ」を選んだ場合>

①理由:

②今後必要な取り組み:

**<評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示**

- ・「人間福祉」という学問領域を社会に浸透させるという目標をめぐって、その進捗状況の確認も含め、具体的に記述されて、適切であると思われます。(A)
- ・アンケート調査を確実に実施され、調査結果から見出した各種広報の改善点を次年度以降の取り組みに繋げていくことを期待しています。(C)
- ・人間福祉領域の社会への浸透が期待されます。(E)
- ・概ね予定通り進捗している。(G)
- ・卒業時アンケートについて実施後の分析が期待されます。同時に、学生の調査疲れを避けるためにも、キャリアセンターや高等教育推進センターによる同種調査との連携も望まれます。(H)
- ・より適切な達成度評価の評価指標を検討する必要があると思われます。(I)